

121214 クロジ

滝畑ダムの湖畔を歩いていると…

「チッ チッ」と鳴きながら、樹林内を移動している野鳥がいました。

警戒心が強そうで、足音を立てずに近付いても、すぐに藪（やぶ）の中に逃げてしまうので、なかなか姿を見ることができませんでした。

1枚だけ撮影することができた写真を添付しましたが、大きさは「スズメ」よりもやや大きくて17cmくらい、全身が黒っぽい小鳥でした。

図鑑で調べてみると「クロジ」という名前でした。

我が国では全身が黒い鳥はあまり多くないのですが、この種は“濃い灰色”の羽毛で覆われており、柔らかな質感を感じることができますね。

とは言え、黒っぽいのは雄だけで、雌は褐色です。

「クロジ」は、樹林内や藪の中など薄暗いところを好むようですので、黒や褐色の羽毛が保護色となっているのでしょうね。

この種は、日本以外では、サハリンの南部やカムチャツカ半島の南端から千島列島までの狭い範囲にしか棲んでいないようです。

日本では、本州中部以北の山地の林で繁殖し、冬場は西日本に移動して越冬します。
(一部は中国に渡るようです)

さて、この「クロジ」、臆病者なので人前に姿を見せることが少なく、非常に観察することが困難な種ですが、それだけではなく、近年は個体数も減ってきているようです。

近畿府県のRDB(レッドデータブック)を見ると、京都府と奈良県では「絶滅危惧Ⅱ類」に、大阪府と兵庫県、滋賀県では「準絶滅危惧種」に分類されています。

